



## ☆子どもの実態把握・情報収集

○これだけは事前を知っておこう

特別支援を要する子どもの実態把握

- ・学校生活での子どもの様子を知る。
- ・必要あれば、事前に家庭訪問をし保護者からの話を聞き、本人と顔合わせをしておく。

いじめや生徒指導上課題となる子どもの把握

家庭環境に課題のある子どもの把握

## ☆当番活動のやり方

○始業式の日から、学級は動き出します。子どもが戸惑わないように当番の仕事を決めておきましょう。仕事内容や当番表は、教室に掲示して、子どもたちが戸惑わないようにしておくのが大事です。

## ☆一回目の学級通信

○一回目の通信は初めての親に担任を理解してもらう重要なもの。安心してもらえるよう次の3ポイントは外さないようにしましょう。

- ・自分の教育への考え
- ・めざす学級の姿
- ・育てたい子どもの力

\*難しく書かず、分かりやすく簡潔に書きましょう。

## 《始業式から三日間で》

### ☆楽しい出会いの場の工夫

○始業式は子どもも緊張してるもの、楽しい雰囲気お互いのことを知る工夫をやる。ということで、エンカウンターの要素を取り入れた実践の紹介です。

じゃんけん質問…「お友達のことをたくさん知ろう」と呼びかけて行う。

(1) となり同士向かい合って、握手して自分の名前を言う。

(2) 先生のスタートの合図で、勝った方が負けた方に一つ質問する。

(3) 負けた方が答えたら、またじゃんけんをする。

◇始める前に友達に聞いてみたいことを5つぐらい用意させておくとよいそうです。

### ☆自分が見える自己紹介カード

○クラス替えがあると、子どもたちはいったいどういう友達がいるのか最も気になる場所です。そこで、自己紹介カードを準備します。自己紹介カードに書かせることは次のようなものを。

\*本人のプロフィール…誕生日、趣味、好きなものなど

\*自分をアピール…自分のよさをみんなにアピール

\*友達やお家の人から紹介文

◇始業式の日一人ひとりの顔写真を撮ってお九といいそうです

## ☆学級のルールづくり

○学級の決まり事(ルール)は、始めにきちんと話しておかないと、子どもはど

んどん好き勝手なことを言い出します。始めが肝心！  
《始めに決めておきたい学級のルール》

- \* 朝の会・帰りの会のやり方
- \* 給食の配膳・おかわり，片付けのやり方
- \* 掃除のやり方
- \* 特別教室などへの移動の仕方
- \* 席替えのやり方や間隔 など

○学級目標や係はこれからの学級作りの基盤となる大切なものです。急いで形だけ作るのではなく，子どもの思い，先生の思いを出し合いながらしっかり作っていきましょう。

出会いの演出にもいろいろあるようです。初めての出会い，楽しく素敵なもののできたらいいですね。

最後に，岡山の唐川先生からの情報です。

3月末に学習会を開き，そこで，低中高学年の5人のパネラーが自分の学年スタートをどのように準備し，演出するかというものを発表してくれたということです。

- ・ 出会いでは，笑顔で名前を呼ぼう。楽しく自己紹介をしよう。
- ・ 配布物等の確認を事前に確実にし，時間と信頼を損なわないようにしよう。
- ・ 学級目標づくりを大切にしよう。
- ・ 係活動と当番活動の組織作りではゴールデンウィークまでの1ヶ月間の戦略を綿密に立てよう。
- ・ 学級のルール作りをしよう。
- ・ 学級づくりは健康作りと同じ。健康になることだけが目標ではなく，健康になることが仕事や趣味，スポーツに親しむ元となる。集団づくりが学習の元になる。
- ・ 担任の個性の出し方，家庭との連携のはじめかた。

やはり，出会いを大事にしたいという先生方の思いが伝わってきます。

---

## 2 山口学級活動ネットワーク 春の学習会 報告 その3 ～いじめが生まれにくい学級づくりの実際

---

前号に引き続き，春の学習会で提案した7つのメニューについてのちょっと詳しい報告パート3をお送りします。

#### \*メニュー5：話し合いのシステム\*\*\*\*

子どもたちの主体性を生かすためには、話し合いによって問題解決ができる力を高めていく必要があります。計画委員会等の組織をつくるなどして、話し合いを大事にする学級にしたいものです。そのために、次のことに取り組むとよいことを提案しました。

##### ◇自由に話せる雰囲気づくり

そのために、「思い切り座談会」や「わいわい交流会」などを仕組むこと。

##### ◇相互理解を育てる話し合い活動の指導

- ア 相手の思いを尊重しよう…ブレインストーミングを生かして
- イ 問題は話し合いで解決する習慣をつけよう…トラブルチャンスの発想
- ウ 賛成意見、反対意見の出し方を考えさせよう…反対意見には代案を
- エ 安易な多数決に頼らないようにしよう
- オ 意見をつなぐようにしよう…人の話を聴く習慣を
- カ 話し合いの場面を体験させよう…学習場面にも話し合い活動を
- キ いつも自分の考えをもつようにしよう…自分はどうか考えるのかをまとめる習慣

#### \*メニュー6：子どものよさを生かす\*\*\*\*

子どもたちは楽しいことが大好きです。一番楽しみにしているのが、たぶんイベント活動です。このイベント活動は、子どもたちのよさを生かすチャンスが多く含んでいます。そのことは、子どもたちが活動する目的を生み出すとともに、子どもたちのもつエネルギーを上手に使わせることにもなります。そのためのポイントとして、実行委員会システムを学級に作る、という提案をしました。

##### ◇実行委員会システム

実行委員会システムとは、「何かをやりたい」と思った者が実行委員会を組織するやり方です。「この指とまれ方式」とも呼ばれています。これは発想の段階で発生し、その企画が終了すると同時に解散するというやり方なんです。これをうまく使えば、子どもたちのよさを生かし、自主的な学級づくりへの参画がかなり進められます。

#### \*メニュー7：家庭との連携\*\*\*\*

家庭との連携を深め、保護者の信頼感を高めておけば、いじめなどにつながる問題が発生したときにも、その問題が複雑化せずにする場合が多いです。家庭の信頼を得るには、何といたっても「子どもの変化で語ること」だと考えています。そのためのポイントとして2つのことを提案しました。

##### ◇親へのお願い

“子どもの前で担任の悪口は絶対に言わないでください”

このことを、最初の懇談会でお願いします。親が担任の悪口を言えば、子どもは教師を信じなくなってしまう。言いたいことがあれば、担任に直接言っ

てきてもらうようにお願いします。

◇学級通信の活用

学級での様子を通信を使って家庭に連絡します。学級通信は“やたらと書くこと”をお薦めします。“やたら”と何を書くか…については、とにかく、“学級の様子をとことん知らせる”ことをねらいとしています。特に、子どもたちのよさは、徹底して書きます。学級で何があるかを知ること、親の見方が確実に変わってきます。

-----  
3 メルマガ編集部からのお知らせ  
-----

◆次号の予告◆◇◆

第30号は4月下旬ごろ発行予定です。

次号では、係活動についての連載を行います。

原稿の投稿がありましたら、そちらを優先することがあります。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は144名です。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。

以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====